

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

「思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場」 (第1回)が第7回幹事会とあわせて開催されました

思川開発事業では、ダム事業の検証に係る検討が実施されているところです。

4月12日から5月11日にかけて、これまでの検討をふまえて作成された「思川開発事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対して、パブリックコメントが行われました。また、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都にお住まいの関係住民の皆様から報告書（素案）に対するご意見をお聴きするための「意見聴取の場」が、5月13日に国土交通省利根川上流河川事務所で、5月15日に思川開発建設所で、それぞれ開催されました。

6月21日には、思川開発事業の検証を目的として設置されている「思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場」（第1回）及び「思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場」（第7回幹事会）が、東京都内にて開催されました。検討の場では、『思川開発事業については「継続」することが妥当であると考えられる。』という対応方針（原案）の案が示されました。

検討の場の構成員の皆様からは、「事業継続が妥当」との方針は適切である、検証の早期完了と一日も早い事業の完成を望む、コスト縮減及び工期短縮を求める等のご意見を頂いたところです。今後は、皆様から頂いたご意見をふまえて対応方針（案）が決定され、国土交通省に報告されることとなります。

引き続きダム事業の検証に係る検討の進捗を図って参るとともに、ダム事業の検証中も生活再建事業については適切に実施して参りますので、今後とも思川開発事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



工事の実施状況報告（西ノ入地区改良工事）

西ノ入地区で道路工事を実施しています

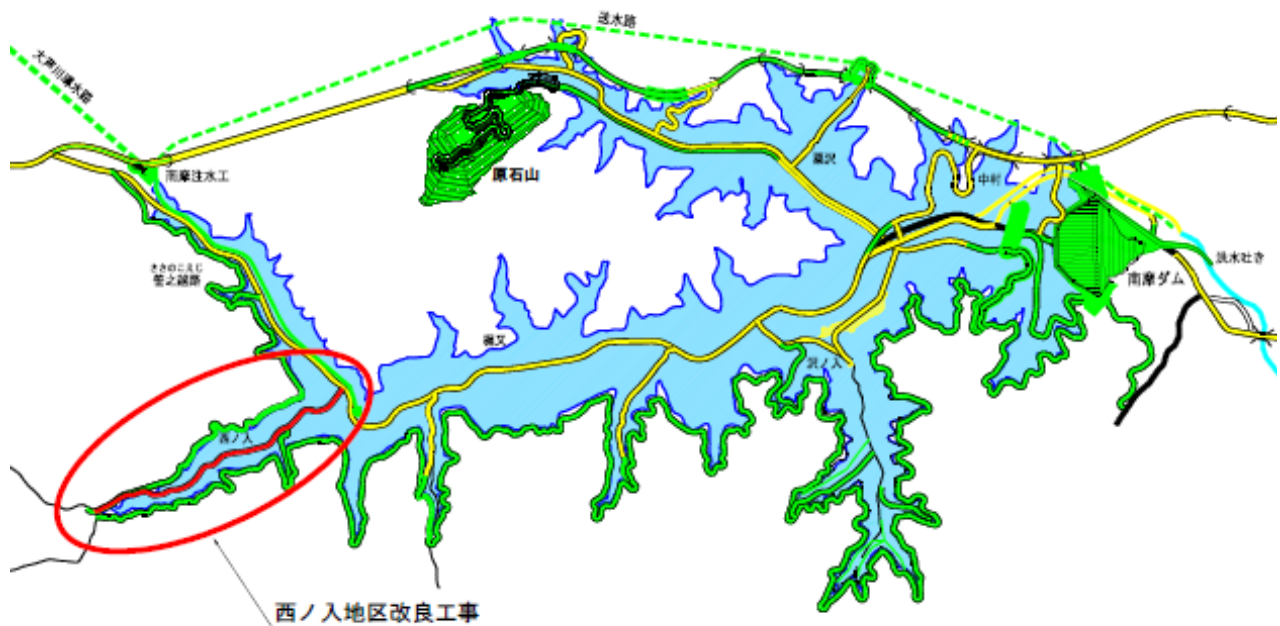
現在、思川開発建設所では、鹿沼市上南摩町^{かみなんま}の西ノ入地区において「西ノ入地区改良工事（H28.3.17～H28.8.23）」を行っています。

この工事は、事業用地の管理・保全を目的としており、昨年9月の関東・東北豪雨による西ノ入地区の道路の被災箇所を復旧するものです。

主な工事内容は、延長約1キロメートル区間について道路幅4mの進入路整備を行うもので、出来るだけ既存の西ノ入市道（道路幅3m程度）を利用して道路幅を広げることとし、被災して既存の市道が崩れ落ちていたり、渡れなくなっている旧橋付近については、安全な場所に道路を付け替えることにしています。

本工事では、工事コストを抑えるため、盛土材料には付近のトンネル工事で発生した土砂を利用するよう努めています。また、建設機械は低騒音・低振動の重機を使用し、掘削や盛土で生じる斜面は、在来の植生が回復できるように手当するなど、環境にも配慮しながら工事を行っています。

工事実施に際しては、工事関係車両の一般道通行時におけるマナー向上などを心がけ、地域の皆様のご迷惑とならないよう努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



【西ノ入地区改良工事の位置図】

アユ釣りが解禁となりました

今年も多くの釣り人で賑わっています！



思川開発事業と関係のある黒川、思川、大芦川などで、アユ釣りが解禁となりました。

黒川漁業協同組合が管轄する黒川流域は6月11日（土）に解禁日を迎えました。昨年9月の関東・東北豪雨被害の傷跡が残っている影響も心配されましたが、解禁日当日は多くの太公望たちによって賑わい、黒川漁協が19万匹ものアユを放流したこともあってか、平成橋付近では早朝の短時間で20匹以上のアユを釣り上げた方や、100匹以上の東釣りをされた方もいたということでした。

また、小倉川漁業協同組合が管轄する大芦川流域等は、6月19日（日）に解禁日を迎えました。ここでも流域内では多くの人出が見られ、当建設所で毎年実施している調査結果では、最近の5年間で最も多くの釣客が確認されました。特に釣客から人気がある清洲橋、粟野運動公園前、引田橋周辺などでは、川辺に多くの釣竿が林立する眺めは壮観そのものでした。こうした釣客の中には60匹超の釣果をあげた方もいたということです。

今年は解禁当初だけでなく、7月に入っても多くの釣り客の姿を見かけます。アユ釣りはまだまだこれからも楽しめますので、おいしい清流アユを求めて、皆様も釣りに出かけられてはいかがでしょうか。



【平成橋周辺】



【粟野運動公園前】

AED講習会を開催しました

AEDとは、自動体外式除細動器のことをいい、心臓が痙攣し血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

思川開発建設所では、万が一の災害や事故に備える取り組みのひとつとして、定期的に救命講習会を開催しています。5月20日には、AEDメーカーの方を講師に招き、「AED講習会」を実施しました。

職員をはじめとする事務所の勤務者ほぼ全員が参加



【心臓マッサージをしながら、
AED使用準備を行っている様子】

し、AED の使い方、胸骨圧迫（心臓マッサージ）の方法を演習形式で学びました。



事務所に設置されている AED は、使用経験のない人でもすぐに使えるように音声案内機能がついていますが、いざその時になると落ち着いて迅速に対応することは、なかなか難しいものです。最初はぎこちない様子でしたが、繰り返し練習するうちに、連携してスムーズに救命措置を行えるようになりました。

こういった救命活動は継続した訓練が重要です。日頃から安全衛生管理の徹底に努めていますが、今後も救命講習会を含め、定期的に取り組みを行っていきます。

【玄関前に設置しています。いざという時はご活用下さい。】

思川流域のご紹介

第7回

思川の流しびな



思川の沿川、小山市では、夏の風物詩として「思川の流しびな」という伝統行事が行われます。毎年7月の第1日曜日に行われており、今年は7月3日の晴れた日曜日の午前中に執り行われました。浴衣姿の子どもたちが、下野しぼりの和紙で作られた「下野人形」というひとがたに様々な願いを託して思川に流します。

編集後記

関東地方では、昨年は豪雨が各地に被害をもたらしましたが、今年は渇水による水不足が深刻になっています。

利根川では10%の取水制限となっており、思川が流入する渡良瀬川では取水制限が20%に引き上げられています。

水は限りある資源です。大切に使いましょう!!

【矢木沢ダム の 状況】



平均的な年の状況(平成26年06月30日 99%)



(平成28年07月06日 22%)

渇水です



編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289) 85-1110 Fax (0289) 85-1211

http://www.water.go.jp/kanto/omoi_gawa/index.html